

ウェルビーイングを実現するスマートモビリティ 事例で読みとく地域課題の解決策



石田東生・宿利正史 編著
 地域の未来を考えるモビリティ研究会 著
 2022年9月10日 発行
 A5判・168ページ・定価 2,300円+税 | 学芸出版社

当研究所で2020年に設置した「新しいモビリティサービスの実現方策検討委員会」において、2020年7月から2022年3月まで行った調査と議論の成果をとりまとめ、政策提言も盛り込んだ標記書籍が発行されました。

【内容】

高度化・発展化するモビリティサービスを地域課題の解決策の有力な一つの選択として活用してもらうことを念頭に、取り組みに当たっての考え方や活用する際のポイント、さらにはこれらを推進するための法制度等に関わる仕組みについて取りまとめた。

目次

1章 ウェルビーイングを実現するモビリティサービス

- 1.1 ウェルビーイングとモビリティ
- 1.2 持続可能な地域づくりとモビリティ
- 1.3 モビリティサービスがもたらす多様な価値

2章 モビリティサービスで地域課題に挑む先進事例

- 2.1 事例紹介
 - 事例1 チョイソコ|健康増進のための乗合送迎サービス
 - 事例2 井田いきいきタクシー|過疎地域の暮らしを豊かにする定額制配車サービス
 - 事例3 十勝バス|地方都市の活性化に率先して取り組む
 - 事例4 前橋市|自動車依存から脱却し、中心市街地の活力を取り戻す
- 2.2 「地域課題の解決」が取り組みの原動力

3章 知っておきたい交通政策の基本的な考え方

- 3.1 官民連携でサービスを持続可能にする
- 3.2 複数のサービスを組み合わせる活用する
- 3.3 利用者に行動変容を働きかける

4章 事例で読みとく活用の8つのポイント

- 4.1 誰もが取り組みの主体になれる
- 4.2 サービス活用に向けた3つのステップと8つのポイント
 - ポイント1 ブームで終わらせない組織・人材づくり
 - ポイント2 実現するビジョンの共有
 - ポイント3 地域公共交通をリデザインする
 - ポイント4 データエコシステムをつくる
 - ポイント5 利用者の行動変容を仕掛ける
 - ポイント6 データを地域全体の交通サービスに活用する
 - ポイント7 活動・移動ニーズを掘り起こす
 - ポイント8 自律的・継続的な事業実現を支援する

5章 モビリティサービスを活用しやすくする仕組みづくり

- 5.1 交通関連制度の変革
- 5.2 サービス連携に向けたデータ環境の整備
- 5.3 実証実験の円滑化・充実化
- 5.4 地域全体にメリットを波及させる仕組みの構築
- 5.5 モビリティツールの導入支援
- 5.6 既存の交通インフラの改善

購入はこちら

amazon <https://www.amazon.co.jp/dp/4761528338>

楽天ブックス <https://books.rakuten.co.jp/rb/17243164/>

amazon

楽天ブックス

